

日時：2022年6月22日(水)10:30~12:00

場所：東京都障害者福社会館

(全30グループのうち)

14グループが出席、委任状出席が15グループで、依って本会は成立。

1. 活動方針案 *以下の方針案は全て可決された。

- ・全国拡大教材製作協議会は依頼者とボランティアを結ぶ機関として存続させる。
今まで通り協議会に来た依頼について各グループに照会する。
- ・文部科学省、データ管理機関、教科書協会など、他団体との連携を続け、得た情報は開示する。
- ・勉強会は開催しない、会報は発行しない。但しホームページは最小の連絡手段とする。
- ・代表者会議は2022年以後開催しない。
- ・各グループとの意見交換や技術交換、各機関から得た情報提供は2ヶ月に1度のZOOMミーティングで行う。参加者は各グループの代表に限らず誰でも参加できる。
また会議の議事録はHPに掲載。
- ・世話人会は解散し、この最小協議会を運営するために、4人が事務局として残る。
- ・会費は徴収しない。今後の運営費用は会計報告後の余剰金を充当していく。
- ・以上の方針に合うよう会則の最後に以下の条項を付則する。
「諸事情で会則に則った会の運営ができないようになったときは、会の運営方法、方針を2022年は代表者会議、以降はzoomミーティングの承認を持って変えることができる」

質問：余剰金で運営資金は賅えるのか。

回答：現在の活動状況なら、繰越金残高から数年は充分活動できる。

質問：世話人の交通費はどうしているか。

回答：障害者福社会館での世話人会の時は各グループが負担、世話人として文科省等の関係機関に赴くときは拡大協が負担している。

質問：会則は改訂案がコロナで議論が停滞しているが。

回答：環境の変化に迅速に対応できるよう、今回は付則を設ける。また時機をみて改訂が必要であればzoomミーティングで検討していく。

2. 会計報告・監査報告 *可決された。

3. その他のご意見・要望

Zoom ミーティングについて

現在、奇数月の第4水曜日に開催。約15名の参加者がある。

(意見) Zoomに参加したことがないので、不安。

(意見) 遠隔地のグループも参加できる・移動の時間を省略できるのは大きなメリット。

(意見) スケジュール的に無理な方もいると思う。時間を変えての開催も検討してみてもいい。

* Zoom ミーティングの招待メールから誰でも参加できるので、まずは気軽に試してほしい。開催日時・時間は要望を参考に夜の開催等、考えていく。

グループの存続について

* 新規会員を育成するのは時間を要する作業なので、なかなか勧誘がむずかしい。

* インターネットを通して活動できるので、未成年者が入会したグループもある。

* ボランティア講座を毎年している。一人も入会しない場合もあるが、拡大教科書を知ってもらう機会になったと前向きにとらえている。

4. 文科省訪問について報告

6月17日(金) 文科省教科書課に事務局4名(越島・傍島・猪狩・宮崎)が訪問。

拡大写本ボランティアの現状と課題・デジタル教科書について懇談。

a. デジタル教科書を2024年度に本格導入するには、まだ課題が残る。

(予算面・先生の習熟度・インターネットの環境設備 等)

b. 当面、紙の教科書は残る見込み。

c. 標準拡大教科書は努力義務のため、次の改訂では未製作が出てくる可能性がある。

d. ボランティア製作の拡大教科書について、市区町村の教育委員会まで情報が網羅されていない。そのため、依頼者が教育委員会に相談してもボランティアと繋がれない。

5. 事務局よりお願い

拡大教科書の依頼のメール等、送信したら出来る・出来ないにかかわらず、返信いただくと受信の確認が出来てありがたい。